

町田市議会議員

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

〈市民ホールの隣〉

会派が解散・議会も一人で行動

私が所属する市議会の会派「志政クラブ」が解散することになりました。その理由は市議会の中で 3 派に分かれた自民党議員が合同して単独会派にするという経緯の中で発生したことです。これまで、私が所属する「志政クラブ」は自民党所属議員 2 名＋無所属の私を含めて 4 名で構成（今年に入り、自民党議員が 3 名に変更）していましたが、今後自分 1 人では会派の構成要件を満たさず、会派に所属しない議員（町田市では、諸派と言います）という立場になります。今回の事態は自分自身が望んで 1 人になったわけではなく、不本意ですが議会内でも当面 1 人で行動することになります。

今後の議会内活動で、本会議の一般質問や常任委員会の所属（総務常任委員会）には全く影響しませんが、議会運営委員会のメンバーから外れることになり、オブザーバーとしての出席になります。その他、いくつかの点で若干の不便が生じ、手間が増えることになります。しかし、皆様ご承知のように、私自身通常の議員活動・政治活動の大半を個人でこなしてきたことで実質的な活動中身は大きく変わらないと考えています。

ともかく状況には流されず、「良識ある保守政治を目指す」スタンスを変えないでいきます。ある意味、このような対応は毎度のことであり、吉田つとむの第 29 回セミナーで講師を務めていただいた、浅井 紀 先生（東海大学 文学部 歴史学科東洋史専攻 特任教授）によれば、吉田つとむの本名である「勉」の漢字の意味は、元来「無理をする」ことを表しているとのことでした。（11/3 記）

第 9 回地域医療セミナーに参加

「地域医療と自治体病院」（高知大学医学部医学科家庭医療講座 教授 阿波谷 敏英先生）の講演で、「医者は増えているが、足りてない。特に、地方では県都以外が激減している」との話で、若い医師が都市に偏在し、大学病院に集中しているとの説明がありました。医師としては、大学病院と地域の病院を回遊し、自分を高めていくことが必要で、そうした中から最終的には開業に至る道も必要だということでした。地域で必要とされる医師は、広範囲な対応をする一般的な能力を持つ医師（総合医）が必要であるとされました。



耳が痛い話として、政治は立派な病院を造りたがるという話を頂きました。自分にも当てはまりうることで、身の丈と言うことも考えないといけないことだと実感しました。地域で過重な医療業務によって医師がその地域を去ることを表明したことに対して、地域の住民がコンビニ受診を止める運動を起こして、医師を引き留めた例や、自治体で地域医療を守る条例が設置された例が広がっている例も紹介されました。

自治体病院を持つ議会議員として、自分たちの役割を見つめ直す機会になりました。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



インターン生募集中

携帯QRコード
でブログ閲覧

第33期研修生の1名がスタート

前月より、インターン生の募集をしていましたが、まず、1名が決定しました。申し込みはまずエントリーシートを提出していただき、その後、面談を行っています。通常の就活と似たスタイルを取っていますが、現実の「内定・決定」はもっと複雑、難度があるものかもしれません。この面談自体は一つの社会体験と理解していただきたいと思います。

研修生レポート①：金田 有里恵



10月20日、成瀬が丘にある喫茶店「アンダンテ」で二時間に及ぶ面接をして頂き、インターンシップに参加させて頂けることが正式に決定しました。高校時代から通学途中で駅で吉田議員をたびたびお見かけしていましたが、直接会ってお話するのは初めてだったので、多少緊張しました。喫茶店という場所は普段あまり行かない場所なので、新鮮な気持ちになりました。

また、私が吉田議員に休日はいつなのか尋ねたところ、政治家には基本的に休日という

ものはないというお返事が返ってきたことにも驚きました。また、休日がないということに苦に思っているんじゃないどころか、楽しそうに活動しているんじゃないかについては、私にとっては更なる驚きでした。

吉田議員の数多い歴代インターン生の中で、1年生だった先輩が3、4人しかいないとお聞きした時は、大変驚きました。企業のインターンシップは2年生や3年生のみを採用しているケースが多いので、1年生でも採用して下さるこのインターンシップは私にとってはとても魅力的だからです。政治家志望の学生に限らず、社会体験を目的とした学生にも実施して下さることも、このインターンシップの大きな魅力でした。

面談の終わりに今後のインターンシップの予定について具体的なお話をして頂いたもので、本格的に始まるのだという実感がわいてきています。市議会議員のお仕事は未知の世界なので、正しく理解する絶好の機会になるであろうと期待しています。

記：フェリス女学院大学1年 金田有里恵
(第33期研修生)

*すでに、研修生の金田有里恵さんとは、町田市の施設見学や地域行事に出かけました。次回以降にそのレポートを掲載します。

*なお、他にもこの時期のインターン希望者が出ています。ちなみに、吉田つとむのインターン生として研修を行った人数は、10月末現在で合計54名(女子29名、男子25名)となっています。なお来年の春、あるいは夏のインターン生の申込み受付も同時に行っています。どうぞ、ご希望の方、あるいは関心がある方は、「インターン募集 吉田つとむ」で検索して下さい。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp